

萎黄病に強く根形・尻詰まりの良い、加工用にも適する青首ダイコン!

(カネコ交配)
ダイコン

なつ たい けい
YR夏大慶

Radish, YR Natsutaikei Hybrid



カネコ種苗株式会社
TEL. 027(251)1611(代)

萎黄病に強く根形・尻詰まりの良い、加工用にも適する青首ダイコン!

なつ たい けい
カネコ交配
ダイコン YR夏大慶

Radish, YR Natsutaikei Hybrid

●特 性●

- (1) 根形は尻詰まりの良い総太り型となり、曲がりは少なく、適作型での根長は37cm程度となります。
- (2) 首部はやや淡い鮮緑色で、ヒゲ根は細く肌はなめらかです。
- (3) 肉質は緻密で食味が良く、ス入りは遅いです。
- (4) 晩抽性で、草姿は立性、草勢はおとなしいです。
- (5) 萎黄病に特に強く、裂根等の障害は少ないです。
- (6) 作型は、冷涼地の5月後半～6月まきマルチ栽培、8月上旬まき栽培、中間地・暖地の4月上旬まきマルチ+べたがけ栽培、8月末～9月上旬まき栽培等に適しています。

●栽培要点●

(1) 排水の改善

作土が深く、排水の良い畑が望ましく、サブソイラー等の利用が効果的です。根長が確保され、軟腐病等の予防にも効果があります。また、堆厩肥の施用や緑肥作物（ニューオーツ、スダックス等）の作付けなど有機物を施用することで土壌の物理性を改善することが大切です。

(2) 生理障害対策

春～初夏まきは生理障害（赤芯症、黒芯症等の内部障害）の発生しやすい時期なので、極端な遅まきはせず、ホウ素等の微量元素やリン酸資材の施用を充分に行います。遅まきでは地温を下げるマルチを使用します。また、生理障害は収穫適期を過ぎると発生しやすくなるため適期収穫を心がけます。

(3) 施肥設計

窒素肥料が多過ぎると、首部の傷みや軟腐病

の発生の原因となるため、窒素はやや少なめに施用します。

☆窒素施用量（成分量N）の目安

【春～初夏まき】

中間地の4月まきマルチ栽培

⇒N4～6kg/10a

冷涼地の5月後半～6月まきマルチ栽培

⇒N4～5kg/10a

【秋まき】

中間地の8月末～9月上旬まき栽培

⇒N6～8kg/10a

冷涼地の8月上旬まき栽培

⇒N6～8kg/10a

上記を目安に前作の残肥や土壌の肥沃度を考慮して施用します。リン酸、カリは10kg程度/10aを目安に施用します。微量元素（ホウ素等）の補給も充分に行います。

(4) 病害虫の防除

春、秋ともに病害虫の発生が多くなる時期ですので、予防主体の防除を行います。播種時に登録薬剤を土壌混和し、虫害を予防します。また、生育初期からの殺虫剤と殺菌剤の散布を行い、病害虫（アブラムシ、コナガ、キスジノミハムシ、軟腐病等）の防除を徹底します。

●栽培作型●

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
冷涼地			○	○	○	○	○	○	○	○	
中間地		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
暖地		○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○ 播種期 — 生育期 ▨ 収穫期

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
 TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会
登録番号 10-001号

取扱店